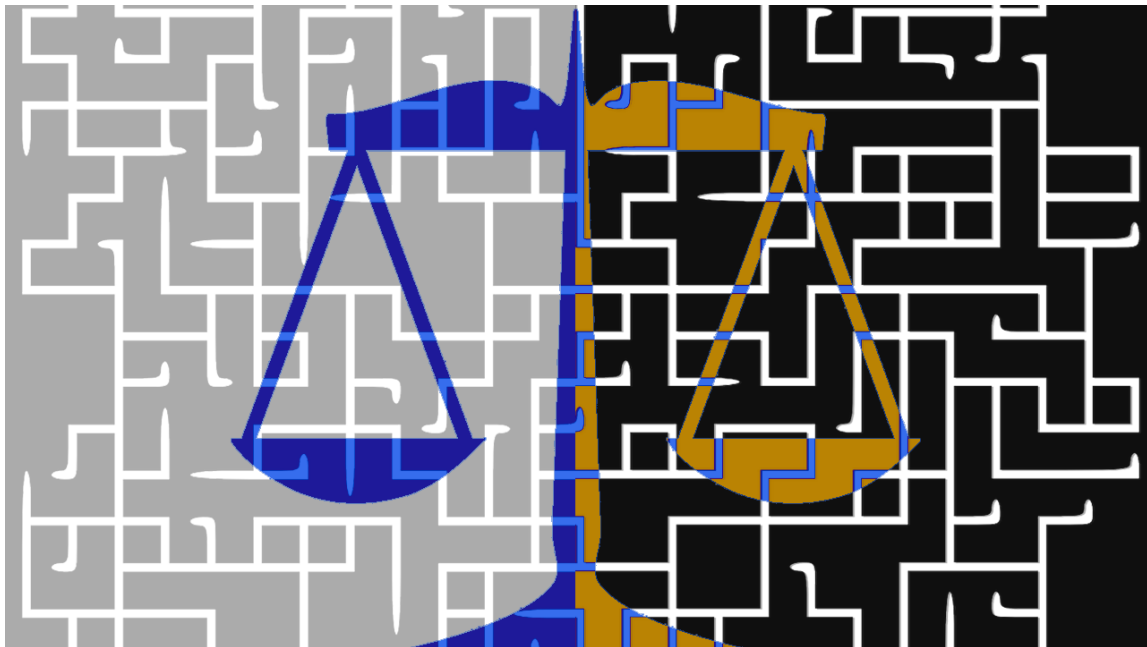




PercentDiggerとは？

まったく異なる二つの数字の強弱を比較するためのTradingView独自ツールです。

例えば住宅着工の許可件数とSP500株価指数を並べてみましょう。



2006年頃には着工件数が頭打ちとなったにもかかわらず、株価は上昇を継続。

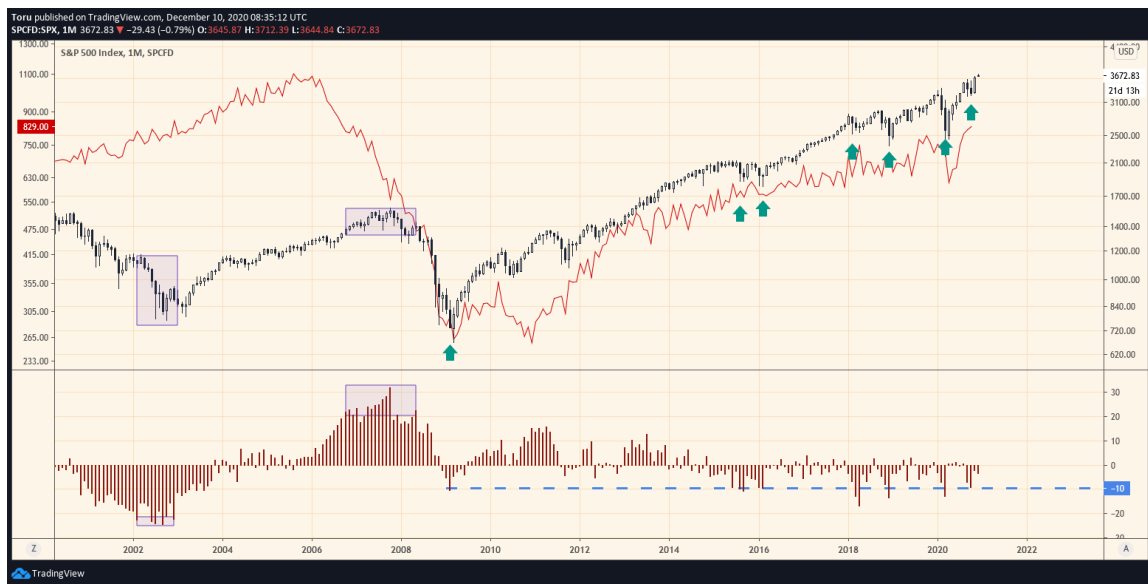
結果的に2007年後半から調整入りをしています。

後から見れば、「なるほど株価はファンダメンタルズに引っ張られて下落したな」と分かります。

ただ、現場にいても判断の基準となる数字がないと、投資判断もできません。

このような、一見比較不可能に見える要素を比較するのが、当PercentDiggerです。

この二つをPercentDiggerで比較しましょう。



2009年より前であれば、およそ ± 20 に乖離が到達してから、緩やかに株価は方向を転換しています。

2009年以降は、FRBが資産買い入れを決行した2008年末の効果が出始め、**-10のしきい値が買い場**を示しています。

「しきい値をヒットしてからそのまま進む期間が長すぎるではないか」

「2009年以降はしきい値そのものが変わっているではないか？」

という疑念を持たれる方もいるでしょうし、そのような問合せを（別の講義で）頂いたことがあります。

もしこれが**ゲームの世界で正解があるなら、ぜひ攻略法を探し手に入れて、「無敵モードで全クリア」**したいですね。

ただ、私たちが相手にしているのは、**「生きている相場」**です。

経済を牽引する要因も、中央銀行の政策も、市場に参加するプレイヤーの質や層も、時と共に変わります。
変わる相手に対しては、やはり戦略や設定も合わせていく必要があるのではないのでしょうか。

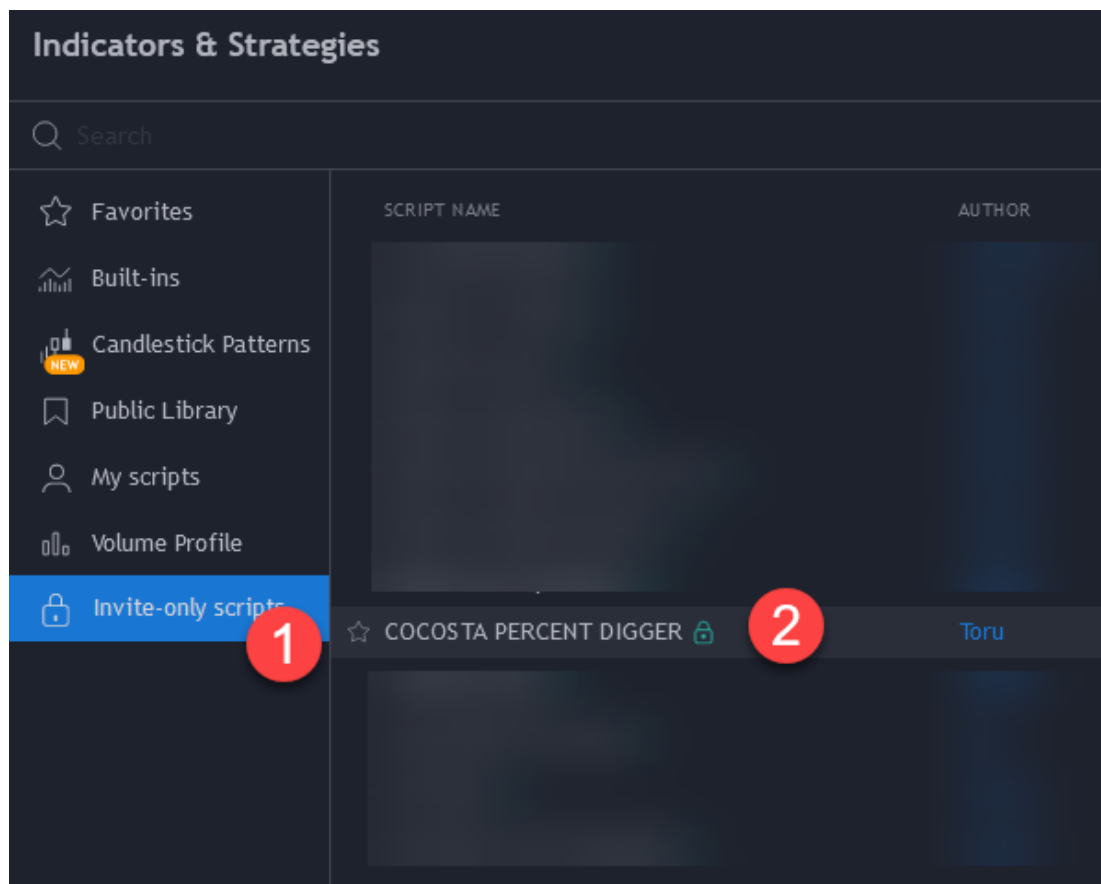
このツールは、私自身が投資・トレードの中で、**意思決定を手助けするためのツールとして作成**したものです。

普通は比較できないものをパーセント化し、力関係を数値化する。そこから法則なりを見つけるのは、やはりトレーダー自身なのです。

ご自身で見つけたものを公開する必要はありません。製作者の私に裏側から情報が届くこともありません。**どうぞ安心して、自分の道具で稼いでください。**

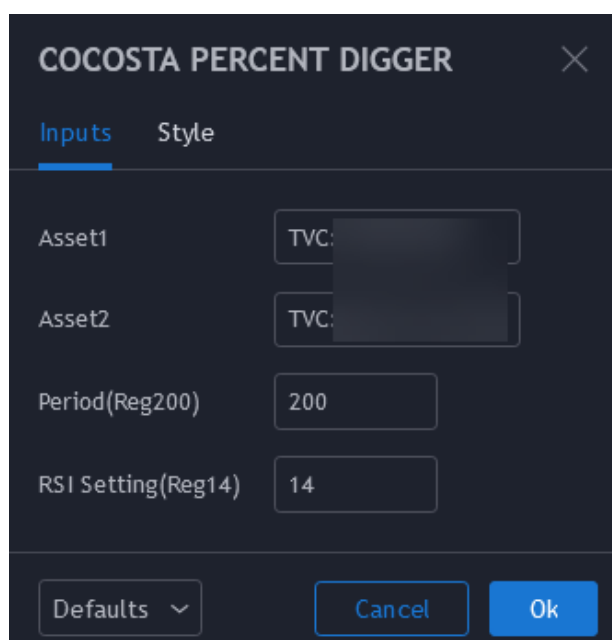
それこそ、私が当ツールを公開し必要な方に使って頂こうと考えた理由です。

呼び出し方



初期銘柄の設定および比較対象の入力方法

「EURUSD」との比較を前提とした銘柄を入れています



○ 金利差

○ インフレ指標

バランスの取れた中長期指標を使っています。

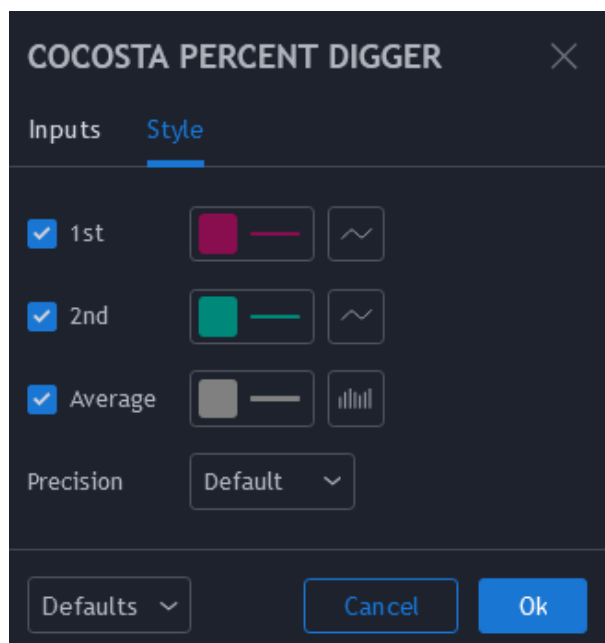
Asset1 、 Asset2 それぞれ好みの比較対象を入力できます。

PERIOD（期間）は、比較対象を何本のローソクに渡ってさかのぼるかを表します。通常は200のままでOKです。

RSI・・・期間内の比較対象アセットの数字を（%）化して比較した差分をRSI化しています。

通常は14のままでOKです。少し早い反応を試したい場合は、12なども試してみてください。

比較対象の銘柄を設定する



- ① 比較対象1との乖離を折れ線グラフ
- ② 比較対象2との乖離を（別の）折れ線グラフ
- ③ ①②の平均値をヒストグラムで表示

となっています。

「2つも比較対象は必要無い」という場合は、チェックを外すことで非表示にできます。

グラフ種類も折れ線からヒストグラムへと変えることができます。

講義内で代表的な通貨ペアとの比較対象を提示してあります。

まずは、それらを見ながら自分なりのアレンジを加えて頂くのが効率的かもしれません。

アラートを設定する

PERCENT DIGGERの数字が一定のしきい値に到達したら、アラートで知らせて欲しいという方もいるでしょう。

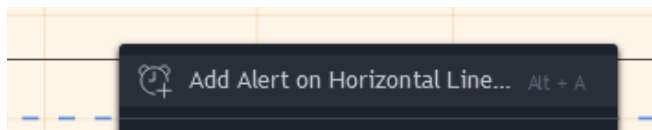
もちろん可能です。

※ 利用されているTradingViewのプラン次第で設定可能なアラート数は異なります



例) ドル円でPercentDiggerが上下20をヒットしたときにアラートを鳴らす

- ① インジケーター内、任意のレベルで水平線を描画
- ② 水平線を右クリックして「アラートを追加」



以上です。

アラートを細かく設定したい場合は、TradingViewのブログが参考になってみてください。

<https://jp.tradingview.com/support/solutions/43000520149/>

活用方法の事例など



ゴールドと中長期金利とを比較した事例です。

※ 講義内に数式を公開してあります。

講義内で使ったTickerの事例など

住宅着工許可件数

QUANDL:FRED/PERMITS

